

広島平和記念式典に参加して

問合せ 人権推進課 ☎(43) 1111 内線 162

8月6日(水)に広島市で開催された広島市原爆死
没者慰霊式・平和祈念式に、市が募集した「平和の
作文」で最優秀、特選を受賞した中学生6人が参加
しました。

平和記念公園の慰霊碑や原爆ドーム、広島平和記
念資料館などを見学し、被爆体験を聞くなど、平和
の尊さについて改めて考える貴重な体験となったよ
うです。

ここでは、参加した生徒の感想をご紹介します。

ふるやま さとみ
古山 聡海さん(幸手中)

最大の学び

平和の作文を書くにあたり、祖父の手記やこ
れまでの知識から戦争について考えてきました。
しかし、この二日間を通して、戦争の悲惨さや
核兵器廃絶への理解が足りていなかったと思い
ました。ただ調べて考えるのではなく、現地を
訪れ、体験してようやく「知る」ことができま
した。私にとって、それがなによりの学びにな
りました。戦争体験者や被爆者の方々が減少し
ている中、世界に目を向け、私たちが後世に戦
争の悲惨さを伝えていくべきだと考えます。

なかしま はるか
中島 悠花さん(幸手中)

「正しい」知識の必要性

初めての「広島」。80年前に起こったことをよ
り詳しく聞くことができました。原子爆弾は爆心
地周辺で約3,000～4,000度で、「小さな太陽」と
呼ばれていることを知り、最初は信じられませ
んでした。そして最も驚いたことは被爆者たちが差
別されていたことです。勝手な偏見で決めつけら
れ、苦しんでいることを知りました。それぞれの
人の置かれている状況を一人ひとりが「正しく」
理解し、「正しく」対応することが差別のない世
の中を作るのに必要だと思いました。

さくらだ にこと
櫻田 虹采さん(東中)

広島を訪れてみて

私は被爆体験伝承者の人の貴重で重要なお話
や、平和記念公園への訪問から、広島に限らず、
長崎や沖縄などの日本の戦争によって大きな被
害を受けた地域の当時の状況を知り、その悲惨
さを痛感しました。このとても貴重な体験をも
とに、今の日本がいかに安心して過ごしている
か、どれだけ平和が大切かをより多くの人に理
解してもらうために、私は少しずつでも平和へ
の貢献をしていきたいと思いました。

たけい みさと
武井 美聡さん(東中)

戦後80年

私は今回の広島での体験を通し、平和を願う
気持ちがより一層高まりました。世界では今も
戦争が起きています。そしてその戦争は人々を
苦しめるものでしかないと思います。
日本は戦後80年が経ちました。私は今回学ん
だことを多くの人に伝え、戦争の悲惨さを風化
させないために、そして平和な未来のために、
一歩ずつ歩んでゆこうと思います。

かわた りんと
川田 鈴富さん(西中)

平和記念公園と資料館を見学して

式典の会場は、厳かな雰囲気に包まれていて、
空気が少し張りつめているように感じました。
資料館や写真を通して伝わってくる当時の人々
の思いに触れているうちに、自然と背筋が伸び、
心が引き締まるのを感じました。世の中では、
よく「命が失われるから」「日常が崩れるから」
などの理由で、戦争はよくないと言われますが、
そうした言葉よりも何倍も強く心に残りました。

ひだか あいら
日高 愛来さん(西中)

平和記念式典に参列して

私は初めて平和記念式典に参列して、平和を
願い、未来に繋げようとしている姿をたくさん
見ることができました。その姿から私も、世界
中の人々が平和に幸せに過ごせるようにしたい
と強く思いました。そのために私は、家族や友
達に、今回経験したことを話し、もっと多くの
人に広島が経験した過去を知ってもらい、関心
を持ってほしいと思いました。



「お口の健康は全身の健康と密接に関連しています」

～80歳お口の健康調査～

幸手市歯科医師会

幸手市は高齢化が急速に進行し、65歳以上の人口割合が35%を超えています。これは、全国平均よりも5%以上多く、約15年後の日本全体の割合に匹敵します。すなわち幸手市における高齢化対策には、日本の将来を模索する先駆的な取り組みが求められています。

高齢になっても毎日健康に暮らすためには、日常生活の礎となっている食生活の充実が極めて重要です。近年の研究において、お口の健康は全身の健康とも密接に関連することが明らかになっています。そのため、幸手市においても歯科口腔保健の推進に関する条例が今年施行されました。

「8020運動」をご存じの人も多いと思います。歯を20本保っていれば、好きな物をなんでも咬むことができる。このことから、一生涯、自分の歯で食生活を楽しむために、「80歳になっても歯を20本保てるようにしましょう!」という運動です。

高齢者の口腔保健の向上のための施策を行っていくためには、高齢者の口腔の実態把握が極めて重要です。この度、公益法人8020推進財団が幸手市および幸手市歯科医師会と協力して、全国の80歳の口腔状態の把握のための先行調査を幸手市で実施することになりました。高齢者の口腔保健向上のための実態把握は、幸手市民の健康増進において極めて重要な取り組みです。さらに、本調査の結果は日本国内にとどまらず、高齢化が進行しつつある世界各国においても健康施策を進めるための重要な基礎的資料になります。

今回の調査は幸手市在住の昭和20年生まれの人を対象となっており、10月に「ウェルス幸手」にて歯科検診を実施します。また、幸手市歯科医師会会員の歯科医院でも受診することができます。さらに、施設に入所している人や外出が難しい人には訪問検診も受け付けています。今回の調査の日に治療はできませんが、歯科医師がお口の状態をチェックする機会にもなります。お手元に「80歳お口の健康調査のお知らせ」が届いていて、まだお返事をしていない人は、幸手市健康増進課までご連絡ください。

問合せ 健康増進課 ☎(42) 8421

ヨガ / Yoga 講習コーナー

B&G海洋センター

①ストレッチヨガ教室

日時 9月5日、12日、19日、26日 毎週金曜日
10:00～10:50

②骨盤調整ヨガ教室

日時 9月5日、12日、19日、26日 毎週金曜日
11:00～11:50

①②共通

場所 ミーティングルーム

対象 18歳以上

定員 12人(申込み順)

費用 1回600円(保険代含む)

持ち物 屋内用シューズ、タオル、飲み物、
ヨガマットまたはバスタオル

申込み 電話または窓口(当日予約可)

問合せ B&G海洋センター ☎(48) 0220



図書館

本館

日時 10月30日(木) 10:30～11:30

定員 10人(申込み順)

香日向分館

日時 10月16日(木) 10:30～11:30

定員 6人(申込み順)

共通

持ち物 ヨガマットまたはバスタオル、飲み物、
ハンドタオル

申込み 9月14日(日)から

問合せ 図書館 ☎(42) 0169

中央公民館

日時 10月21日、28日、11月4日、11日、18日
毎週火曜日(全5回) 10:30～12:00

対象 市内在住、在勤、在学の人

定員 15人(申込み順)

費用 400円

持ち物 ヨガマット(貸出可)、タオル、飲み物

申込み 9月17日(水) 9:00から電話または窓口

問合せ 中央公民館 ☎(42) 5156